

わかやま 和歌山を創る新聞

Vol.238
2020.6.12

CIS NPOのための新型コロナウイルス
ウイルス対応お役立ちサイト
https://stopcovid19-for-npo.jp/

全国の NPO 支援機関が連携し、ネットワー
ク組織「CIS (「新型コロナウイルス」NPO 支
援組織社会連帯)」が立ち上がりました。様々
な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

今だからこそ環境に優しさを～SDGs から環境問題について考えよう

NPO 法人わかやま環境ネットワークは、和歌山県内で環境問題に取り組む多くの市民団体や企業、個人が参加するネットワーク組織です。「和歌山県地球温暖化防止活動推進センター」の事務局を担うなど、様々な地球環境活動の支援を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大のなか、環境問題になにか影響は出ているのでしょうか。事務局長の臼井達也さんにお話を聞きました。

SDGsも誰一人取り残さないという思いから

国連が推奨しているSDGs(持続可能な開発目標)という考え方は、2030年度までに人権や環境問題等、世界が抱える17種類の様々な課題を解決する目標が設定されています。共通のテーマは「誰一人取り残さない」です。

環境ネットワークでもこのSDGsを通して、人が幸せになるため、自然環境を守る活動を通して目標達成に向けて活動を続けています。

新型コロナウイルスから感じた戸惑い

今回のコロナ問題は、全人類が共通の試練に立ち向かう事を強いられました。その結果、社会的弱者を中心に多くの人が犠牲に

なってしまう。その一方、人の移動が少なくなったことで、ベニスのゴンドラが止まり運河の水が透明になったことで魚が戻ったり、中国のCO2の排出量が2週間で約2億トンも減少したり、と今まで実現が難しかったことが、皮肉にも実現してしましました。

長年環境問題に携わってきた人たちはこの現象を目の当たりにし、戸惑ったといま

「私自身、この悲しい出来事の上で起こった現象をどう考えていけばいいのかわかりませんでした。ただ、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を通して、考え続けなければならぬ」と臼井さん。

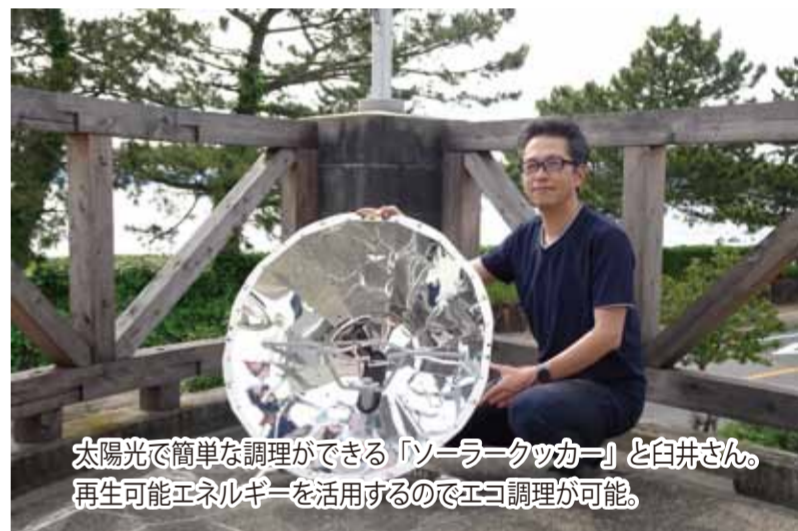
1人が多く行動するより100人が少しの優しさを

通常、環境問題は、経済問題よりも後に考えられがちですが、実は環境問題は人の生活基盤に直結している問題でもあります。

気候変動による災害や大気汚染による健康被害等、直接に経済に結びつかなくとも、間接的に人々の生活に与っていて決して無視する事ができない問題です。

「SDGsは人間が幸せになるために考えられた目標です。例えば一人ひとりが、ほんの少し環境について意識する事に挑戦してみればどうでしょうか」と臼井さんは提案しています。

例えば、ママさんサークルで家庭ごみの勉強をしてみる、レジ袋の有料化を機会にエ



太陽光で簡単な調理ができる「ソーラークッカー」と臼井さん。再生可能エネルギーを活用することでエコ調理が可能。

人が少しだけ環境に優しい暮らしを意識することが出来ます。

「1人が100のことをするより、100人が1つを意識して生活する事が大切だと思います」と臼井さんは言います。

これからは、ソーシャルディスタンス(社会的距離)が必要になり、人とのつながりを持つ手段に工夫を求められる時代になります。

しかし、こんな時代だからこそ人とのつながりを大切に、自然環境や街や人に、いつもより少しだけ優しい気持ちを持つ事の大切さを広めていきたいという思いが伝わります。(U・Y)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



NPO 法人わかやま環境ネットワーク
〒641-0014 和歌山市毛見 996-2
https://wenet.info/wp/
TEL 073-499-4734 FAX 073-499-4735
わかつく 239号は6月26日付の予定です

新型コロナに負けるな！ わかやま NPO 活動応援基金 緊急寄附募集！

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。今回の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、和歌山県内の NPO のなかには活動停止や大幅な縮小に追い込まれている団体も少なくありません。

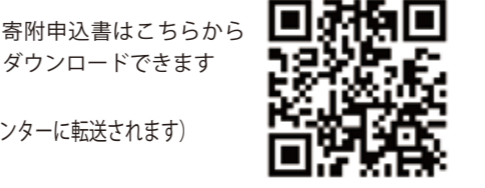
いま苦しい状況にある NPO は、これまで子どもや高齢者、障がいのある方の生活を支えたり、市民の健康増進のための取り組みを進めたり、地道にまちづくりに取り組んだり・・・様々な形でまちに欠かせない活動を展開している団体ばかり。わかやま NPO センターは「誰ひとり取り残さない」国連 SDGs (持続可能な開発のための目標) 達成に向けて、地域で暮らす方を支える NPO 活動を応援する基金を立ち上げます。

寄附の方法

- ※ 寄附申込書に、寄附したい分野と金額を記載のうえ、申込書に記載している、わかやま NPO センターの口座にお振込みください。複数分野の選択も可能です。
- ※ 分野別寄附先団体はわかやま NPO センターで募集・審査のうえ、対象となった団体に均等にお振込みいたします。
- ※ 募集状況についてはわかやま NPO センターブログ (http://blog.canpan.info/wnc/) で随時お知らせします。
- ※ 寄附の受付締め切りは6月30日火曜日を予定しています。8月に助成後、2021年1月を目処に寄附金受領証明書(確定申告にご利用いただけます)と、ご寄附いただいた資金をもとにおこなった事業報告をお届けする予定です。

実施主体

認定 NPO 法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 (火曜～金曜 不在の場合は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます)
FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp



1 寄附先を分野から選択したい場合【分野別寄附】

寄附金税制の対象となります

次の A から H の 8 つの分野でご寄附を募っております。複数の分野にまたがっても OK。金額は問いません。

- A 子ども支援**
子ども食堂、子どもの虐待防止、民間学童保育など子どもの豊かな育ちを応援する事業
- B 障害者支援**
公的な障害福祉サービスの枠組みから外れる障害者支援を応援する事業
- C 高齢者支援**
公的な介護サービス等の枠組みから外れる高齢者支援を応援する事業
- D 健康増進**
住民の健康増進につながる地域のスポーツや介護予防等を応援する事業
- E まちづくり**
新型コロナが落ち着いたあとのまちづくり活動全般を応援する事業
- F 文化の振興**
この間活動がストップしている様々な文化振興を応援する事業
- G 弱者支援**
難病や病気の患者会や家族会などをはじめ、様々なハンディを負っている方を応援する事業
- H わかやま NPO センター**
新型コロナウイルス感染症で影響を受けた団体支援と、情報収集・発信をおこなっています

■寄附金税制について
(ご寄附いただいた金額-2,000円) × 最大 50% が確定申告により所得税等から控除されます。
例) 100,000 円のご寄附の場合、最大 49,800 円、50,000 円のご寄附の場合、最大 24,000 円、10,000 円のご寄附の場合、最大 4,000 円が所得税等から控除されます。

2 寄附先がすでに明確な場合【指定団体寄附】

寄附金税制の対象となりません

寄附したい団体が明らかな場合は、わかやま NPO センターを経由して、団体に寄附します。
※ 振込手数料は差し引かせていただきますのでご了承ください。
※ このコースで寄附される場合、寄附金税制の対象にはなりません
※ 先方が寄附の受入をおこなっていない場合、公序良俗に反する行為をおこなっていると認められる場合、団体名誤りなど振込先口座がみつからない場合などの理由で寄附ができないことがあります。この場合は、寄附額を「1. 分野別寄附」に掲げられている類似分野への寄附金に振替させていただきます。